

【福岡市】水路蓋の劣化状況の把握

課題の背景

水路蓋は、歩行者の安全確保や利便性向上を目的として、道路上にある水路に設置し、歩行空間を拡張するものである。水路蓋はコンクリート製であり、生活道路に設置されているものと幹線道路に設置されているものとでその点検頻度が異なるが、老朽化や事故等の外部要因による破損・損壊の有無を確認するため、市職員が定期的にパトロールを行っている。しかし、当該業務に投入するマンパワーには限りがあるため、全ての水路蓋について細かな点検を実施することができておらず、表面の目視点検の実施にとどまることが多い状況にある。

この点、水路蓋の破損は、人や車が被害にあう事故につながる恐れがあるため、可能な限り高頻度かつ高い精度で点検を行う必要がある。そのため、限られたマンパワーで水路蓋を効率的、高頻度かつ簡易に点検を実施可能とすることが求められている。

求められる要件(機能要求・関連基準等)

以下に示す事項のいずれか又は全てを可能とするようなアイデア・技術等を求める。

- ・ 表面からでも水路蓋（コンクリート）内部や裏面の速やかな点検を可能とすること。
- ・ 側溝内部からの簡易かつ高精度な点検の実施を可能とすること。
- ・ 1回の点検に要する時間の短縮を可能とすること。
- ・ 高頻度の転換を可能とすること。